

基本方向

02

子どもを育む環境づくり

基本政策01 子育て支援の充実

▼
p70

基本政策02 学校教育の充実

▼
p72

基本政策03 青少年の健全育成

▼
p74



SDGsへの貢献



施策 11 子育て支援の充実

目標 ▶▶ 子育て世代にとって魅力のあるまちをめざし、子ども一人ひとりの特性にあった健やかな成長を支え、子どもを安心して産み育てる環境を整備します。

現状

- 本市の合計特殊出生率は、令和3年度(2021年度)が1.40と県内では高い水準にありますが、出生数は横ばい傾向にあり、少子化が進行しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊婦同士や子ども同士が触れ合う機会が減少しています。
- 保育園の施設整備は整ったものの、保育士不足により定員まで子どもを預かれない状況があります。
- 本市の離婚率は、令和3年(2021年)が1.84(人口千人当たり件数)で県内2位となり、児童扶養手当受給者のうち約80%が養育費を受け取れていない状況です。
- 児童相談の件数及び子どもの発達相談の件数は年々増加しています。

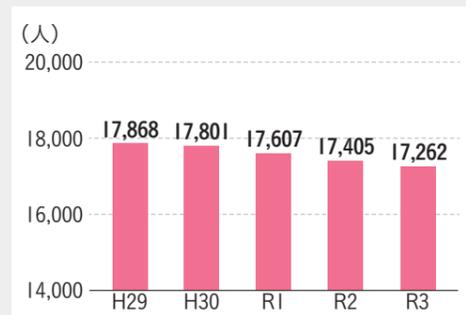
課題

- 少子化を克服するため、安心して結婚・出産・子育てができる環境整備に取り組む必要があります。
- 子どもの成長発達段階に応じた子どもへの関わり方について、教育機会の充実やきめ細かな情報発信に取り組む必要があります。
- 子どもたちが心身ともに満たされ、豊かに生きていくことを支える環境や経験を育むための保育の質の向上に取り組む必要があります。
- 子育て世帯への相談支援体制や経済的支援を充実させる必要があります。
- 離婚前相談や養育費に関する相談の周知を強化する必要があります。

課題解決に向けた方向性

- 子育て世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、保育環境の整備や経済的支援、子どもの発達や特性にあわせた支援を行います。
- 保護者の育児力向上をめざし、情報発信や各種支援事業を実施します。
- 児童虐待や配偶者等からの暴力、経済的困窮など、子育て世帯の抱える様々な問題に迅速に対応する体制を強化します。

【年少人口の推移(15歳未満)】



出所：木更津市住民基本台帳

DXの視点

- ・ アプリを活用した各種事業の開催案内
- ・ 手続きのオンライン化

GXの視点

- ・ 子育て世代への周知、啓発活動
- ・ 保育施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化
- ・ アプリを活用した案内によるペーパーレス化の推進
- ・ 子育て関連施設におけるリユース活動の推進



オーガニックなまちづくりに向けた取組



市の取組

・ 子どもを安心して産み育てることができるよう結婚・妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

市民等の取組

・ 子どもの発達や特性を理解した育児を実践します。

主な取組

11-1 | 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 …【子育て支援課・健康推進課・こども保育課・市民課】

- ▶ 新婚世帯の経済的負担を軽減するため、結婚に伴う新生活に係る費用の一部を支援します。
- ▶ 妊娠期から出産後までの相談支援と出産・子育て応援交付金による経済的支援を一体的に実施します。
- ▶ 産科医療機関と連携し、産後うつ予防、早期発見のため、産後健診後の相談や産後ケアを実施します。
- ▶ 妊婦や子育て家庭の不安や負担を軽減するとともに、子育て力の向上をめざし、子育てアプリを導入し、子育ての情報発信を積極的に行います。
- ▶ 庁内の子育て支援関連部署が連携し、家庭における子育てを支えるための各種事業を展開します。

11-2 | 保育・幼児教育の充実 ……………【こども保育課】

- ▶ 一時保育や病後児保育など、市民ニーズに対応した多様な保育サービスの充実に取り組みます。
- ▶ 保育士の処遇改善や保育士資格の取得をめざす学生に支援を行うなど、保育士の確保に取り組みます。
- ▶ 子どもを取り巻く家庭や環境の多様化に対応するため、保育の質を高める保育士を育成します。
- ▶ 放課後や夏休みなどに適切な遊びや生活の場を与える放課後児童クラブの運営を支援します。
- ▶ 私立幼稚園就園に伴う保護者の経済的負担の軽減や市内私立幼稚園の運営を支援します。
- ▶ 老朽化した施設の改修を行い、保育環境の整備を推進します。

11-3 | 子育て家庭への支援の充実 ……………【子育て支援課・学校給食課】

- ▶ 児童手当の給付や子ども医療費、児童扶養手当の給付等による経済的支援を行います。
- ▶ ひとり親家庭等の状況に応じ、養育費の確保や自立に向けた資格取得の相談等の支援に取り組みます。
- ▶ 産前産後・家事育児サポートやファミリーサポートセンターなどの子育て家庭の支援体制の充実に取り組みます。
- ▶ 子どもの多い世帯(第3子以降)に対し、小中学校給食費の無償化による経済的支援を行います。

11-4 | 児童虐待・DV等の予防及び対策 ……………【子育て支援課】

- ▶ 子ども家庭相談や増加する児童虐待相談に対応できるよう体制強化に取り組みます。
- ▶ 児童虐待防止に向けた啓発活動を実施するとともに、虐待を受けた子どもや配偶者等から暴力を受けているDV被害者に対し、自立に向けた支援等を児童相談所や警察等の関係機関と連携して行います。

11-5 | 子どもの発達支援の充実 ……………【こども発達支援課】

- ▶ 保護者や保育士等が子どもの特性を理解して育児に取り組めるよう、各種教室・研修や相談事業を実施します。
- ▶ 保育園、幼稚園、小学校及び児童発達支援事業所との連携体制を構築します。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
合計特殊出生率	1.40 (令和3年度)	1.45	安心して結婚・出産・子育てできる環境整備に取り組み、合計特殊出生率の向上をめざす。
保育園の待機児童数	6人 (令和4年4月1日)	0人	待機児童数0人を目標とする。
子育てアプリの登録者数(累計)	—	4,800人	年間1,200人の登録者数増加をめざす。

関連する個別計画

木更津市子ども子育て支援事業計画/健康きさらづ21

SDGsへの貢献



施策 12 学校教育の充実

目標 ▶▶

子どもたちが「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけられる学校教育をめざし、現代社会に求められる教育内容の充実を図るとともに人的、物的整備を進め、質の高い教育を提供します。

現状

- 新しい時代を生きぬく子どもを育む「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。
- 情報化やグローバル化が急速に進み、私たちが生きる社会は多様化、複雑化しています。
- 少子高齢化や市街地整備等により人口増減の地域間格差が生じています。
- 不登校をはじめ、多様で複雑な事情を抱えている児童生徒が増えています。
- 学校施設の老朽化が進んでいます。
- 児童生徒の食への関心を高めるため、「きさらづ学校給食米」や「顔が見える地産地消給食」の提供を推進しています。

課題

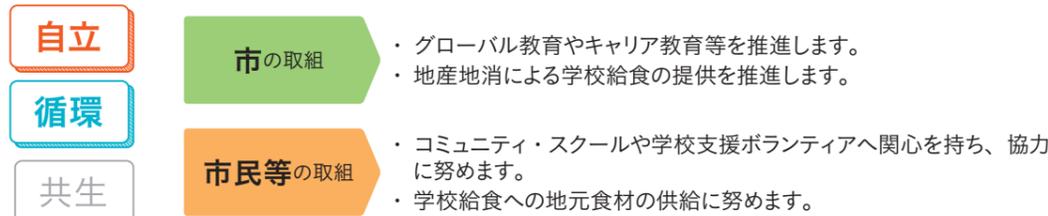
- これまで以上に情報教育や国際理解教育を推進することが求められています。
- 学校規模や地域の特性に応じた特色ある教育の充実が必要です。
- 少子高齢化が進む中、学校と保護者や地域社会の一層の連携が必要です。
- いじめや不登校等の対応として、より児童生徒に寄り添う必要があります。
- 学校施設の改修、設備の充実、生活スタイルの変化への対応が必要です。
- 将来にわたりバランスのとれた栄養豊かな給食を安定的に提供する必要があります。

課題解決に向けた方向性

- ICT教育、外国語教育を充実させ、グローバル化に対応した児童生徒の育成をめざします。
- きさらづ特認校における特色ある教育内容の充実を図るとともに、学校運営協議会の設置を推進し、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。
- 専門職員や関係機関等と連携し、児童生徒一人ひとりの実態を把握し、諸問題の早期発見、早期解決をめざします。
- 学校施設長寿命化計画に基づき、施設の改修、設備の充実、生活スタイルの変化への対応を図ります。
- 地産地消の拠点となる新しい給食施設の整備検討を進めます。



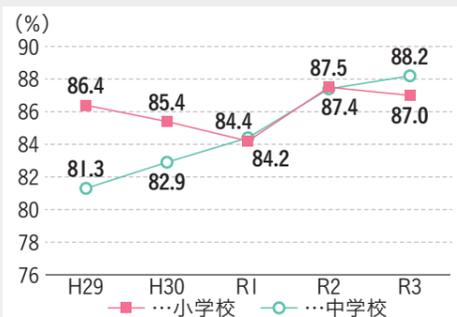
オーガニックなまちづくりに向けた取組



主な取組

- 12-1 | 教育内容の充実** ……【学校教育課・まなび支援センター】
 - ▶ 研修による教職員、外国語指導助手 (ALT) の資質向上により、グローバル化に対応した外国語教育の充実に取り組みます。
 - ▶ 産学官が連携し、出前授業や指導計画の立案を行い、プログラミング学習等のICT教育を推進します。
 - ▶ 「食」に関する指導や生活習慣病、がんに関する授業、保健体育の授業などの工夫・改善を図り、健康・体育・安全指導の充実に取り組みます。
 - ▶ 学校図書館システムの構築など、子どもの読書環境の整備充実を図り、読書活動を推進します。
 - ▶ 人口増加地域においては学校施設等の教育環境整備を進め、人口減少地域においては特色ある教育、スクールバスの運行等の取組を行う「きさらづ特認校制度」を推進します。
- 12-2 | 教育環境の整備** ……【宮籍課・教育総務課・学校教育課・学校給食課・まなび支援センター・学校給食センター】
 - ▶ 学校施設の長寿命化やエアコン設置等、安全で快適な学習環境の維持・保全に取り組みます。
 - ▶ GIGAスクール構想を推進するため、教育機器を整備します。
 - ▶ プールが使用できない小学校を対象に、水泳授業を民間委託や送迎バスによる他校実施に順次移行します。
 - ▶ 木更津産・県内産の食材を取り入れた地産地消給食の提供や地域と連携した給食施設の整備検討を行います。
- 12-3 | 特別支援教育の推進** ……【学校教育課・まなび支援センター】
 - ▶ 特別支援学級の児童生徒とその保護者への就学相談を実施し、個に最も適した合理的配慮を行います。
 - ▶ 通常学級に在籍し、特別な支援が必要な児童生徒に対し、スクール・サポート・ティーチャーによる支援を行います。
- 12-4 | 生徒指導等の充実** ……【まなび支援センター・学校教育課】
 - ▶ 不登校などの問題を抱えた児童生徒や保護者・学校関係者を対象に、精神科医等によるカウンセリング、二者関係づくりを基盤とした個別指導を行うなど、社会的に自立をめざすことができるよう支援していきます。
 - ▶ スクールカウンセラー、心の相談員及びスクールソーシャルワーカーの配置を強化し、個々の心情に寄り添った対応を行います。
- 12-5 | 開かれた学校づくりの推進** ……【学校教育課】
 - ▶ コミュニティ・スクールを導入し、学校支援ボランティア活動の充実など、地域と学校の連携・協働を推進します。

【児童生徒の学校満足度】



出所：学校評価「木更津システム」

DXの視点

- ・ ICT教育の推進
- ・ 学校図書ネットワーク化の推進
- ・ ICTの活用による情報発信の強化、充実

GXの視点

- ・ 学校施設における省エネルギー化
- ・ 学校給食の食べ残しや野菜くずのリサイクル化
- ・ 給食施設における環境負荷低減機器の導入

指標

現状値

目標 (令和8年度)

備考

学校評価「木更津システム」 学校満足度	小学校…87.0% 中学校…88.2% (令和4年2月)	小学校…90.0% 中学校…90.0% (令和9年2月)	満足していない児童生徒数を1割以内に抑えることを目標とする。
------------------------	------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------

関連する個別計画

木更津市教育大綱／木更津市教育振興基本計画／木更津市学校施設長寿命化計画／木更津市食育推進計画
木更津市公共施設再配置計画実行プラン／オーガニックなまちづくりアクションプラン

施策13 青少年の健全育成



目標 ▶▶ 未来を拓く青少年が地域社会で主体的に活躍できるまちをめざし、青少年の自立と共生・参画することのできる環境や仕組みづくりを推進します。

現状

- 青少年を取り巻く環境は、社会状況の変化でデジタルやバーチャル空間の利用が進んでいます。
- 地域の中で人間関係が希薄となり、地域社会への参加の機会が減少しています。

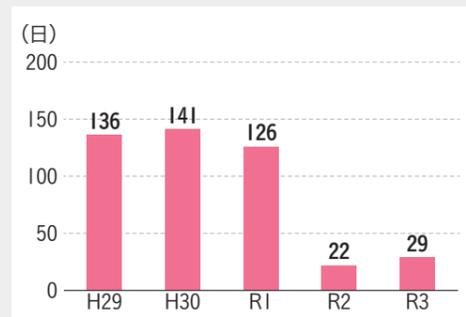
課題

- 多様な選択肢が広がる中で、一人ひとりが長所を伸ばし、未来を切り拓いていけるよう家庭・地域・市が一体となって、自立に向けた居場所づくりに取り組む必要があります。
- 地域で青少年を育成する風土を醸成するとともに、地域の担い手となる青少年の育成をめざし、発達段階に応じて地域活動に参加できる機会や仕組みの提供が必要となっています。

課題解決に向けた方向性

- 青少年が夢や希望を持って様々なことに挑戦するため、自ら学び育つことのできる環境整備に家庭・地域・市が一体となって取り組みます。
- 青少年が発達段階に応じて地域づくりに参画できる機会の提供や地域で共生できる環境整備を行います。
- 地域における青少年健全育成を推進するため、担い手となる地域住民やボランティアの養成・確保に取り組みます。

【放課後子ども教室の開催日数】



出所：木更津市 生涯学習課資料

DXの視点

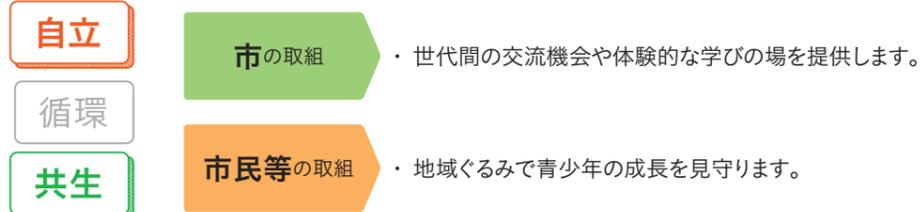
- ・対面とオンラインのハイブリッドによるコミュニティの形成
- ・少年自然の家キャンプ場利用手続きのオンライン化

GXの視点

- ・青少年への自然体験活動における啓発活動
- ・少年自然の家キャンプ場における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



オーガニックなまちづくりに向けた取組



主な取組

13-1 | 青少年を育てる地域の教育力の向上 ……【生涯学習課】

- ▶ 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策を検討するため、青少年問題協議会を開催するとともに、関係行政機関相互の連絡調整機能を強化します。
- ▶ 青少年相談員の活動を充実させるとともに、関係団体等への支援や連携の強化、青少年育成活動の担い手の育成に取り組みます。
- ▶ 放課後子ども教室の拡充を支援するとともに、青少年育成地区住民会議による生き生き子ども地域活動促進事業や地域交流活動を促進し、子どもの居場所づくりや地域の教育力の向上に取り組みます。

13-2 | 青少年育成事業の推進 ……【生涯学習課】

- ▶ 青少年の自立と社会参加を促すため、新しい交流の場としてオンラインでつながる若者語り場や二十歳を祝う会、各種体験事業を実施します。
- ▶ 少年自然の家キャンプ場を自然体験活動の拠点として青少年教育事業を展開するとともに、利用促進のために利用申請手続きの簡素化や運営方法の改善、さらには計画的な施設の改修や整備を推進します。
- ▶ 青少年健全育成を目的とする、地域住民やボランティアの育成・支援に取り組みます。
- ▶ 青少年の心身ともに健やかな成長に向け、キャリア教育の機会の充実に取り組みます。

13-3 | 青少年を取り巻く環境浄化と非行防止 ……【まなび支援センター・生涯学習課】

- ▶ 社会教育指導員による相談活動(電話相談・来所相談・メール相談)を実施します。
- ▶ 青少年補導員による地区街頭指導、鉄道の乗車マナー指導などを関係機関と連携して実施します。
- ▶ 青少年育成に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、青少年指導関係運営協議会を開催します。
- ▶ ネットパトロールの情報提供を関係機関と協力し対処します。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
少年自然の家キャンプ場の利用者数	368人 (令和4年12月末)	1,800人	キャンプ場の更なる利用促進を図り、利用者数の増加をめざす。
放課後子ども教室の開設数	7か所 (令和4年12月末)	8か所	1施設の新規開設をめざす。

関連する個別計画

木更津市教育大綱 / 木更津市教育振興基本計画